

2023.12.24. 処女降誕。本当？ Mac 牧師

頭を下げ、一緒に祈りましょう。主よ、2、3週間前の説教を思い出します。J.D.牧師は仰いました。正しい賛美を、間違った側で。私たちは前もって賛美しているのでしょうか？ それとも試練の後に賛美をしているのでしょうか？ または、その最中で賛美しているのでしょうか？ 主よ、その全てであるよう祈ります。主よ、前で、後で、最中で、またその間のすべてで。主よ、この礼拝の時間を感謝します。あなたはリアルです。私たちはこの時期、あなたを祝います。主イエスよ、あなたがその理由です。ありがとうございます。あなたの聖なる御名を讃えます。私たちはあなたを掲げ、あなたの御言葉で共に過ごす時間を祝福下さいますように。主よ、私たちに語ってくださいますか？ 私たちの霊をへりくだらせ、あなたが今朝ご用意されていることを私たちがはっきり聞けるようにしてください。マック牧師をあなたに掲げます。彼に勇気を与え、立ち上がり、あなたの御言葉を宣言するようして下さい。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

主を褒めたたえます。どうぞご着席ください。どうもありがとうございます。では、おはようございます。皆さん全員に祝福と平安が増し加わりますように。J.D.牧師に代わって、ここカルバリーチャペル・カネオへの日曜日の朝の礼拝へ来て下さり、またオンラインで参加の方も歓迎します。ようこそ。また、訪問者の方も歓迎したいと思います。来てくださり嬉しいです。そして、私たちはあなたに愛を注ぎ、私たちが与えるべき愛を受け取ってくださるよう祈ります。あなたは祝福され、本当に心から愛されています。ですから、ここを去るときは、主の民が本当にここであなたに会ったことを知って、これまでとは違う形で去ることになります。次回の祈り会についてお知らせします。1月9日、ここ礼拝堂で午後7時からです。ご都合のつく方は、是非いらしてください。私たちは祈る必要があるので、一緒に祈りましょう。皆さんが、私たちの様々な宣教のために、忠実に主に送ってくださった祈りに感謝したいと思います。マウイ島について、そして私たちの親愛なる牧師とその家族、特にケリーが、癌と闘っている時期についても同様に。また、互いのために祈り続けることもお勧めします。祈りを絶やさないで下さい。なぜなら、私たち全員が祈りが必要だからです。間違いなく、この島で起きていることを聞かれたと思いますが、特に、ジェイソン&テレサ・カチュエラの家族のため祈りをささげて欲しいと思います。どうか祈り続けてください。主が導かれるなら、何度でも。特に、彼らの子どもたちのために。日曜日の朝は2つの礼拝があって、第一礼拝は、通常「聖書預言・アップデート」第二礼拝は、「説教」に専念します。しかし、今日は、2つの特別題材の学びをします。今朝の第一礼拝は、皆さん「イザヤ書7章」をご覧ください。10節から、今朝の聖句朗読のため、可能な方はご起立下さい。続いて祈りの言葉を捧げます。「イザヤ書7章10節」、神の御言葉が語ります。

ーイザヤ 7:10ー

主はさらにアハズに告げられた。

ーイザヤ 7:11ー

「あなたの神、主に、しるしを求めよ。よみの深みにでも、天の高みにでも。」

ーイザヤ 7:12ー

(しかし) アハズは言った。「私は求めません。主を試みません。」

ーイザヤ 7:13ー

イザヤは言った。「さあ、聞け、ダビデの家よ。あなたがたは人々を煩わすことで足りず、私の神までも煩わすのか。」

—イザヤ 7:14—

それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

今朝の学びへ、主の祝福を祈り求めましょう。天のお父様、私たちはあなたへ心を低くし、今、あなたがあなたの聖霊の御力によって、あなたの神聖な御言葉と共に来て下さり、私たちに祝福してくださるようお願いします。主よ、あなたの御言葉へと霊的に私たちの心の目と耳を開いてください。そうすれば、あなたが私たち、あなたの民に仰らねばならないことを聞くことができます。あなたが私たちに与えて下さった時間を、私たちが本当にあなたにお返しするため、今日して下さることに感謝します。ですから主よ、お語りください。私たちの準備は整っています。意欲があります。救世主イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。どうぞご着席ください。ありがとうございます。今朝の第一礼拝のタイトルは、「処女降誕。本当？」です。このタイトル、あなたは本当にこれを信じますか？ なぜなら、この世の視点から見た処女降誕という概念は馬鹿げているからです。悲しい事に、多くの公言するクリスチャンは、聖書に語られているこの奇跡的な出来事を信じません。彼らはまた、こうも言います。「処女降誕。マジ？」で、その後続く質問はこんな感じです。「そんなおとぎ話を信じる人などいるわけがないね。処女降誕を信じる人なんて愚かだよ。」と。これはどうです？「全部作り話では？ どうしてそういうクリスチャンたちはこのことに気づかないのか？」と。

彼らはこうも言います。「オシリスとイシスや、ミトラ教の神話など、異教の物語からのコピーに過ぎないね。そういうのは、ギリシア人アレクサンダーに関するプルタルコス著作や、アウグストゥスに関するローマ人作家スエトニウスの著作コピーにすぎないし、処女降誕を信じる者は、何でも信じるんだよ。」と。このイエスの奇跡的な誕生が、ご存じのように以前からあった異教的な物語や神話と何らかの形で類似しているというこれらの主張について指摘させてください。まず第一に、全く類似さえていません。また、人からそう言われるのを許してはなりません。それらは似ても似つかずです。神の御言葉の全ご計画を見れば、これらのゴミのような物語を引きあいに出しても、類似など全くありません。私が問題を抱えているのはここです。神は私に働きかけて下さってるでしょ？ 皆さん、それをご存知でしょ？ それが私の引き金だからです。私の鎧の隙間。人がこう言う時、「そんな本気で嘔みつかなくても。」（マック睨みを効かせる）イエスの御名によって。こういう質問や発言がどんどん続き、彼らは人類史の最も偉大な誕生を批判します。でもご存知ですか？ めったに聞かれない質問があります。「なぜあなたは処女降誕を信じるのですか？」です。つまり、そう思うのは、何か理由があるに違いないのです。で、多くの人がそれを信じているのは、いわばその宗教的なシステムでそう言われ、育てられたからだ主張する人もいるでしょう。それは真実かもしれません。それが唯一の信じる理由だとしたら、悲しいことです。でもあなたは、とにかく尋ねました。でしょ？ サンタクロースみたいに。私は子どもの頃、言われました。「サンタクロースは本当にいる。」でも、成長するにつれ、サンタクロースはいないと分かりました。今日、私はきつと、何人かの子どもたちを台無しにしましたね。親御さんたち、その説明はあなたにお任せします。そういうことで。私は子どもの頃、これも言われました。「神は本当におられる。」そして成長するにつれ、言われたのは、「神は、私たちに言葉をくださった。」そして神の御言葉の中で、信じたくないようなことを読んだりしました。でも、読めば読むほど、さらにそれが真実だと認識しました。私たちの多くがそうであるように、まず、こう考えることから始め、こんな質問をします。「これ、本当に言われたとおりに起きたのかな？」と頭で理屈をこねます。悪い

考えです。ですから、言わば、遅咲きの私でしたが、私は 30 代に入ってから、 どれほど聖書が素晴らしいかだけでなく、私のイエスがどれほど現実的な存在かを理解するようになりました。また、 聖書が語っていることはそのまま全て現実だと知る事になりました。これ（聖書）が現実です。聖書は、娯楽目的の作り話ではありません。聖書の記述は、神によって定められた歴史的な出来事です。それに、最も素晴らしいこの世の救世主誕生が含まれています。非常に多くの人々は、笑いとぼし、嘲笑します。どうか、この笑いとぼし、嘲笑される事に腹を立てたり、個人的に捉えないでください。そうなるのは分かります。なぜそうなるかは理解します。でも個人的に捉えないでください。彼らは、私たちを嘲笑しているのではなく、彼らは神を嘲笑しているからです。イエスの誕生は、全世界を変えました。そして今もそれが続いています。このように常に嘲笑され、それに敵対され、虚偽の主張をされているにもかかわらず。では、この際だから言っておきましょう。全員ではないにせよ、ほとんどの人が、クリスマスが異教に根ざしていることは、知っています。私たちにはそれが分かっています。でも、真実を言えば、イエスの奇跡的な誕生が、こうした異教的慣習の多くを侵略したこと。そのように考えたことはありますか？ これらの異教的慣習はすべて、ニムロデのバベルの塔まで遡れます。そして何が行われたか？ これらはみんな忌まわしい存在でした性的不道徳から子供の生け贄に至るまで、私たちはそれを知っています。古代、子供たちが生け贄として捧げられる時、偽りの神モレクを使っていたことが分かっています。これらの異教の慣習では、ユールログ※が続きます。（※クリスマス前夜に炉で焚く大きな薪）そう、子供たちがその上で生贄にされた。それが数あるクリスマスキャロルのうちの一つでできます。♪ 🎵 🎵 (ユールタイド・キャロルが聖歌隊に歌われ) あのユールタイドですか？ あなたが話しているのは。象徴と行為のリストは、どんどん続きます。では、キリスト誕生を示唆するため、この季節を利用しようとするローマ人。何が起こったかと言うと、全世界と同様、冬至と呼ばれるこの日がひっくり返りました。イエスが故に。で、このような事実からクリスマス祝わない人も多いかもしれない一方、世界は離れていき、ハッピーホリデーのような親しみやすい言葉を採用します。ただひとつ確かなことは、この処女降誕の光は、それに反論するもの、またはそれを最小化するものが何であれ常に見劣りさせます。季節に関わりなく。

神にとって不可能なことは何もありません。(ルカ 1:37)

つまり、こう言いたいのです。メリークリスマス!!! 皆さん分かりますか？ あなたがそれを選ぶなら、そう言うのを恥ずかしがらないでください。なぜなら、私たちは愛の掟の下にいるからです。その全てがイエスの誕生で、神の愛なのです。この処女降誕について話すのにも、この時期まで待つ必要はありません。ええ、それを祝うのを選ぶなら、自分の心で信仰をもって確信して下さい。これは「ローマ人への手紙 14 章 22 節」に記されています。神の御言葉をお読みします。

—ローマ 14:22—

あなたが持っている信仰は、(あなたには信仰がありますか?) 神の御前で自分の信仰として持っていないさい。自分が良いと認めていることで自分自身をさばかない人は幸いです。

さて、これは罪を犯すことを許可するものではなく、私たち皆がキリスト・イエスにあって持っている自由への許可です。そのことに、主を褒め称えます。だからメリークリスマスと言うのです。あなたは信仰がありますか？ あなた自身と神に置きたいだけ信仰を置いてください。では、そんな方法で進める必要がありました。イエス・キリストの処女降誕に関してのほぼ稀な質問に答えるという、今朝の箇所に戻るためにね。主が導かれ、ふさわしいと思われる通りに進めます。まず、なぜその質問が稀であ

るのか、最終的に私達を導く事となる箇所を読み進めて行きます。そして、処女降誕の預言を吟味します。ですから、処女降誕にまつわるいくつかの事実を挙げ、処女降誕の理由を論じ、そのすべてから、処女降誕が本当に起こったと信じる理由を示します。では、10 節から 12 節、神の御言葉をお読みします。

ーイザヤ 7:10ー

主はさらにアハズに告げられた。

ーイザヤ 7:11ー

「あなたの神、主に、しるしを求めよ。よみの深みにでも、天の高みにでも。」

ーイザヤ 7:12ー

(しかし) アハズは言った。「私は求めません。主を試みません。」

そう、これは、イエス・キリストの処女降誕を扱うとき始めるにも止めるにも厄介な箇所のように思えるかもしれませんが。でも、この記述を調べれば、厄介な箇所ではないとわかると思います。特に、懐疑論者がなぜその質問をあまりしないのかという疑問に答える際に。なぜか？ ここにアハズという名のユダの王がいます。聖典から、この王が不敬虔な王だったことがわかります。彼は、20 歳の若さでその治世を始めることになり、そして 16 年間君臨しました。この不敬虔な王は、あのモレク崇拜を推進しました。彼はバアルの像を造り、彼は、ヒノムの谷で人間を生け贄に捧げ、彼は高い所で生贄を捧げました。自分の息子を含めて。預言者イザヤのこの箇所の記述で留意すべきは、「主はさらにアハズに告げられた。」皆さんこれが分かりますか？ 神はアハズに個人的な関心に向けておられます。またこれが初めてではありません。私たちは、主が「さらに」語られたという神の御言葉に基づいてそれが分かります。「主はさらにアハズに告げられた。」この章の前半で、主が預言者イザヤを通してアハズに語られたことの続きだと分かります。この中で、私たちが、神の愛を理解するのを祈ります。なぜ私はそんなことを言うのか？ なぜならこの王は、不敬虔だったからです。神は極限を目指され、彼の気を引こうとされています。これが分かりますか？ そうして 11 節で、神はアハズに「どんなしるしでも求めなさい」と述べておられます。「それが何であっても、あなた自身、求めなさい。他の誰も、アハズが見るしるしへ影響をもたらないように。あなた自身がしるしを求めなさい。わたしがあなたのためにそれをします。」神がそれをなさる時、「わたしの預言者が語る言葉がすべて真実だとその言葉が主のものだとあなたは信じ、何の疑問も抱かない。」そして、神は奇跡的に、ご自分を証明しようとしておられます。「求めなさい。後ろに座って見ていなさい。」でも、アハズの最初の反応は？ アハズは言った。「私は求めません。」そして、こうなりました。ついてきていますか？ 「私は求めません。」「しかしアハズよ、証明します。求めるだけでいいのに。わたしがあなたにしるしをみせます。あなたのためだけに。」「私は求めません。」なぜアハズは、求めたくないのか？ なぜならアハズは、本当は知りたくないから。それが理由です。彼は、こう言ってごまかそうとします。「私は、主を試みません。」敬虔に聞こえるでしょ？ 申命記 (6:16) から引用すると、「神である主を試みてはならない。」「私は主を試みません。」でもここでの問題は、神があなたに何かをするよう仰る時それをしないのは、主を試みているのです。そこが問題なのです。またこれは、神ご自身を試しているわけではありません。これは、神の御言葉を自分の目で確かめようとする意欲がないこと。全く違います。私が何を言いたいのか、皆さん、分かると思います。ぐるっと元に戻って、こんにち、ほとんどの人がなぜ？と聞きたがらないのか、その理由に関してすべてを結びつけます。答えはシンプルです。アハズと同じで、知りたくないからです。

この世はアハズで満ちています。それ、間違っただけでいいところでしたね。－(笑)－ ー爆笑ー
おお、主よ、う～ふう～！ で、私も（海軍）船員ですからね。ふう～～～！！ 皆さん、変な考えを持ってますね ー(笑)ー まいりました！

OK。話を元に戻します。つまり、忘れてはならないのは、私たちもアハズだったこと。－(笑)－ 今、これがすべてを台無しにしそうです。訂正させてください。私たちもこの王のようでした。私たちも不敬虔でした。私たちの多くが、モレクの恋人でしたでしょ？ 子供たちを中絶クリニックに連れて行く。私たちの多くが、悪魔の高いところへ行き、この世の祭壇ですべてを生贄にしています。主が私たちに、御言葉の真理を試す機会をくださったとき、私たちはしばしばその申し出を断りました。「私は知りたくありません。」と。それがこんにち起こっている事です。続いています。世は、関連した質問をすることを拒否します。彼らは関連する答えを認めようとしません。たとえ神の御言葉が試され、証明されたとしても、彼らは、神の御言葉を試すことさえ拒みます。「第二サムエル記 22 章 31 節から 32 節」に記されています。神の御言葉をお読みします。

ーII サムエル 22：31ー

神、その道は完全。主のことばは純粹。主は、すべて主に身を避ける者の盾。

ーII サムエル 22：32ー

主のほかに、だれが神でしょうか。私たちの神のほかに、だれが岩でしょうか。

こんにち、世のほとんどの人々は、証明された神の御言葉を自分で読んだことすらないと言わせて頂きます。なぜそうなのか？ 悲しい事に、多くのクリスチャンが、自分で神の御言葉を読んだことがありません。なぜそうなのか？ これはあってはならないことです。私たちは皆、証明された神の御言葉を読むべきです。だから、機会が来れば、関連する質問を世に提供できるのです。神の御言葉によって、この処女降誕を含め、それ自身が証明することを可能にしてください。しるしが与えられています。また今こうしている間にも、しるしは起こり続けています。その全てが、聖書記述にあるのです。

質問：私たちは、この世の人々をそれに向けることができるのか？ 或いは、せめて、神の御言葉から理由を説明できる人を示せるのか？ 神のご方法は完璧です。神の御言葉は証明します。この救い主の誕生は、その御言葉通りに起こりました。

では、今日の箇所に戻り、預言者イザヤが答えます。まず、個人的のような返事があって、それから、神の御霊による預言的な返答があります。そして最後に、真の生ける神だけがなし得る言葉になります。再度、神の御言葉をお読みします。13 節から 14 節、

ーイザヤ 7：13ー

イザヤは言った。「さあ、聞け、ダビデの家よ。あなたがたは人々を煩わすことで足りず、私の神までも煩わすのか。

ーイザヤ 7：14ー

それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

預言者イザヤが、「さあ、聞け、ダビデの家よ。」と言ったとき、2、3 のことがあります。ひとつは、イザヤは王位継承の儀式に関わる血統について、王国全体に注意喚起しています。それは「ダビデの家」を通してです。アハズ王に、ダビデのことを指摘することで、ダビデの神の御言葉への信仰と、アハズの神の御言葉への信仰の欠如が対照的であることも示します。アハズは、信仰欠如だけでなく、彼は信

じたくなかった。イザヤは、アハズが人、イザヤを試すこともしないのをはっきり知らしめます。

「それは小さいことだけれど、私の神も煩わせるのですか？ 私にとって、あなたはうんざりです。でも神は、今うんざりしておられます。いいですか。神は長い間ご忍耐されています。」

で、このアハズは、この地位にいるこの時点で、30歳にも満たないのです。そして、彼はすでに神を疲れさせた。考えてみて下さい。ここでイザヤは言います。「主は、私の神。」皆さん気づきましたか？ その前は、「あなたの主を試してみなさい。」でも今は、「主は私の神である。」違いが分かりますか？ なぜなら、あなたは主をまったく信じようとしなないから。また、本当に主を探し求めないから。もしあなたがそうしたなら、主は、あなたに必要とする方法であなたに明らかにされるから、あなたは分かったでしょうから。あなたの欲する方法ではありません。なぜなら、あなたが自分の欲する方法で神を知ったなら、満たされた欲する方法で、あなたはまた別の要求をするでしょう。アハズは、神のしるしを拒んだにも拘らず、神ご自身は、とにかくしるしを与えようとしておられるのに留意ください。神の御言葉が、あなたにしるしを与えると語っている時、聞く言葉は、複数形で、ダビデの家全体へ語っています。皆さん分かりますか？「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」この預言は、イエス・キリストが誕生する700年以上も前に与えられていますが、信じようと思じまいと、アハズは、こんな風にこの預言の成就を見るでしょう。大いなる白い御座の裁きで、アハズが、インマヌエルの前で膝まづく時に。そのことを考えたことがありますか？なぜ処女降誕を本当に信じるのかという質問に答え始めるのはここです。その理由のひとつは、人類の贖罪のすべては、最初からこの約束にかかっているからです。私たちは始まりの書「創世記3章15節」からこのことを知っています。神の御言葉が語ります。

一創世記 3:15一

わたしは敵意を、おまえと女の間、おまえの子孫（種）と女の子孫（種）の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打つ。」

人間の墮落後を読み直すと、私たちが贖うため女の子孫（種）の予告によって神が既に持っておられた計画が始まり、明らかにされます。これについては、以前話しましたね。女性は、神によって定められ神に創造されました。そのことはもうわかりました。種はありません。同意しますか？ここで表現されている種とは、定められた時に起こる聖なる受胎の種です。聖なる受胎で、人の手によるものではありません。聖なる人に受胎したイエスは、アダムの汚れた罪深い血統から取り除かれました。人の種を必要としなかったからです。マリアからの汚れもありませんでした。理由は、聖霊が彼女を覆い支配したから。聖なる受胎に生物学的な説明はありません。それがすべてのポイントです。繰り返しますが、これが与えられたしるしです。それが、神から与えられた御子につながるのです。そこで質問です。他にしるしが必要ですか？これは、こんにちの世が持つ自然主義的、物質主義的な世界観を否定します。これが奇跡だと思うなら、こんにち世の多くの人々が信じる全宇宙のようなものが、神なしに無から生まれたという奇跡についてはどうですか？無から生まれた。皆さん、それを信じますか？そう、あなたは無を信じ、何も存在せず、何もないんだから無も存在できない。でも、それが何かを造った。で、彼らは私が狂っていると言うでしょう。でも聖書で神が預言しておられます。神がこれをなさいました。神はこれを私たちのためになさいました。しるしとして機能しています。この聖なる受胎は、人の子（イエス）をもたらしました。ある意味、近親の贖い主、肉における贖い主が与えられました。それが重要です。近親者です。女から生まれ、神ご自身の創造した肉に。これについて、ある作家は次のよう

に語ります。

—引用—

「処女降誕は神にとって必要ではなかったが、神は別の方法でご性質を融合させることができた。しかし、それはキリストのご人格における人性と神性の一致のしるしとして、最も適切である。」

ここに何かがあります。それが、神の人だと納得させます。皆さん、ついてきていますか？ なされたあの方法が、私たちにとって道理にかなっている。私たちは、神が何をなさったか分かりますか？ この誕生は、神が用いる器でした。それは、皆の注目を集めるだけでなく、これからも集め続けるはずで、本当にそうなるべきで、人々がそれを信じようと信じまいと私はそうなると思ひます。しかし、この節に関しては女の種を理解するのにとても重要です。

ではここから、「マタイの福音書 1 章」を読みましょう。18 節から 23 節、繰り返しますが、この預言がイザヤによって宣言されてから約 700 年後です。「マタイ (マティウ) の福音書 1 章」マチューではありませんよ。先週でしたね。「マタイの福音書 1 章」18 節から、神の御言葉をお読みします。

—マタイ 1:18—

イエス・キリストの誕生は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒にならないうちに、聖霊によって身ごもっていることが分かった。

—マタイ 1:19—

夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしたくなかったので、ひそかに離縁しようと思った。

—マタイ 1:20—

彼がこのことを思い巡らしていたところ、見よ、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。その胎に宿っている子は聖霊によるのです。」

因みに、受胎はいのちです。皆さん、聞いていますか？ 妊娠が。ですからここには、ダビデの家の一員がいます。ヨセフのことです。これはイエスの誕生に関するもう一つの条件でした。ダビデ王の血筋でなければなりません。これは預言者エレミヤが 23 章 5 節で語ったことです。神の御言葉をお読みします。

—エレミヤ 23:5—

見よ、その時代が来る。——主のことば——そのとき、わたしはダビデに一つの正しい若枝を起こす。彼は王となって治め、栄えて、この地に公正と義を行う。

この地に。聞いてますか？ 地上全てに。その王は、王の王です。それがイエスです。でも神を憎む人々は、義を憎む者です。私たちは皆、世自体が義とはほど遠いことを知っています。彼らは、私たちの多くがそうであったように、不義に生きることを愛していて、真理に関心がないからです。この世に完全に明け渡した人間には、世のどんな証拠も意味をなしません。ですから、イエスに、イエスの誕生に関するすべての預言に触れる必要がない。でも、興味を持っている人もいて、彼らはただ知らないだけ。おお、何ということ。あなたの人生は変わろうとしています。興味があると、聖霊による優しい後押しで、彼らは神を探し求めます。神はそれを尊重されます。彼らは救いの中で主を見出すでしょう。では、ヨセフに戻ります。語られている事は、20 節から 23 節にかけて、主の御使いがヨセフに語った言葉は、何世紀も前に、主の御言葉が預言していたことで、私たち全員が全容を調べる特権にある情報の具体的な詳細が詰まっています。私たちにはすべてがあります。私がそう言うのは、ヨセフには、こんにちのような視点がなかったからです。そう、彼はそれを乗り越えなければならなかった。彼は処女

降誕を知っていたかもしれませんが、しかし、彼は実際にそれを経験しなければならなかった。その中で信仰を持って。彼はその時、自分が何を体験することになるのか、まったく考え付かなかった。ですから彼は、聞いたことに答えるかどうかの選択をしなければならなかった。事実、私たちにとっても、西側諸国大半の私たちは、神の御言葉の全ご計画を手にはしています。独自に精査するには十分すぎる情報です。しかし、多くの人が選択するのは、全くそれを聞く事すらしない。何が悲しいかと言うと、自分は聞きたくないと言う時、それって、どういう意味ですか？考えてみて下さい。誰かがあなたに真理を伝えたいのに、その「聞きたくないね。」という態度は、自分自身を起訴していること。それがあなたにしていること。なぜなら心の中で、それが真理と分かっているからです。でも私たちが、耳を傾ける事を選ぶなら、神の御言葉の中にある連続性は、大変神聖で、全てが神聖だと、自ら見つけるでしょう。自分で探し求めればいいだけです。ですから質問は、あなたは探し求めますか？自分で調べる時間を取りましたか？ それとも、ナショナル・ジオグラフィック・チャンネルやユダの福音書に頼るのですか？ ユダの福音書なんてありませんよ。ナショナル・ジオグラフィック・チャンネルによれば、そうではないようですけど。じゃあ、CNN からあなたのフィードに届く質問を聞くのですか？「あなたへの宗教的な質問です。」そんなことしたことありますか？ あれらの質問は、聖典とは何の関係もありません。「聖書の中の聖マートルとは誰でしたか？」何ですって？ 或いは、リチャード・ドーキンス（進化生物学者）を聞くのが好きな人たち。そういう人たちは皆、、ちなみに神学校に通っている人もいますよ。だから彼らは聖典を知っています。神学校で、無神論者が教えていることを知っていますか？ 皆さん、聞いてます？ 彼らは無神論者の神学者ですよ。信じられません。さらに悪いのは、あなたは、神がこの奇跡的な誕生を行うことができないと見ていますか？もしそうなら、あなたは信じないだろうから。あなたがしたことは、いつでも反論できるように、あなた自身の神を思考の中に作り上げたのだから。でも私はあなたに言います。それは聖書の神ではありません。奇跡は、全能の神が成し遂げるのに、何も不思議なことでも、難しすぎることでもありません。繰り返しますが、留意ください。あなたは、神の御業は皆無とするものを選んで信じようとし、自分自身を起訴しています。何も無いところから生まれた宇宙には、もっと信仰が必要です。もっと信仰が必要。事実私は、私の信仰の中その信仰を持ちたいです。分かります？ ですから、自然主義的な世界ではあなたの人生には意味がなく、無から始まり、そして無に帰す。違います。私の神は、イエスを通して、永遠のいのちがあると仰います。贖い主は、この方法で誕生された。私たちはそれを知っています。神が起こると仰って、これがその成就です。これは、私たちがそれを信じるもうひとつの理由です「ルカの福音書」に収められている

記述の一部も読んでみましょう。(ルカ) 1章31節から38節、「ルカの福音書1章」31節から38節です。神の御言葉が語ります。

ールカ 1:31ー

見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。

ールカ 1:32ー

その子は大いなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

ールカ 1:33ー

彼はとこしえにヤコブの家を治め、その支配に終わりはありません。」

—ルカ 1:34—

マリアは御使いに言った。「どうしてそのようなことが起こるのでしょうか。私は男の人を知りませんの
に。」

—ルカ 1:35—

御使いは彼女に答えた。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、
生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれます。」

—ルカ 1:36—

見なさい。あなたの親類のエリサベツ、あの人もあの年になって男の子を宿しています。不妊と言われて
いた人なのに、今はもう六か月です。」

—ルカ 1:37—

神にとって不可能なことは何もありません。」

—ルカ 1:38—

マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身
になりますように。」すると、御使いは彼女から去って行った。

この記述は、マリアは男を知らなかったことが分かります。なぜ私はそれを言うのか？ ここに集まっ
ているクリスチャン、公言するクリスチャンが、と言いますが、マリアは、これ以前に、子どもを複数、
或いは少なくとも一人生んでいたと信じる人がいるからです。私は牧師達が、そう宣べ伝えているのを
聞いたことがあります。そう教えている牧師達は、彼らは悪魔の影響を受けているか、小さな悪魔その
もので、完全な悪魔です。皆さん分かりますか？ 私の神が、彼らに対処されます。神が、私に先に対
処する許可を与えない限りはね。でしょ？ 今にも聞こえてきそうです。

「わたしの子よ。」「はい、お父様。」「行って、息の根を止めなさい。ヒル牧師です。」—(笑)—
これ、あなた、動揺するはずですよ。で、そんな教えの下に誰が座れるのですか？ 神の御言葉はこう
語るのに、彼らはそれに挑戦する。そして、これがでっち上げだと思わせるよう人々を信じ込ませる。
この処女から生まれる者は、神の子と呼ばれると語られています。それが正に起こった事です。この御
使いはマリアに、いかにその神の子が終わりのない王国を持つかについて話します。先週、王国の側面
について話しました。もちろんこの件に関して、まるまる 1 回説教をすることもできますが、今はまず、
37 節に焦点を当てたいと思います。37 節、もう一度、神の御言葉をお読みします。「神にとって不可
能なことは何もありません。」これは、完全終了の宣言です。そうあるべきです。先ほど述べましたけ
ど、ここに記述で残してあります。これが、聖書の神です。神にできないことは何もありません。ま
た、神のなさることはすべて義です。あらゆることが。あるコメンテーターはこう書いています。

—引用—

「自然の法則は、最高の法則を与える神が自らを縛る鎖ではなく、しかし、神が自らの手に握り、その
喜びと知恵の命じるままに、長くしたり短くしたりすることができる縄である。」処女降誕を否定する
のは、単にそれを信じないということよりも、もっと根深いと言っておきます。それは、イエス・キリ
ストの死からの復活を信じていないことと一致します。そして逆に、処女降誕を信じれば、復活を信じ
るように導かれるのは当然です。それが分かりますか？ 2つは繋がっています。また私たちのクリス
チャン信仰の核心です。はっきりさせておきます。私たちがキリストを信じるのは、処女降誕のため
ではなく、イエス・キリストが、この処女降誕が私たちに指し示す救世主だからです。この出来事は、イ

エスの復活と同様、地を揺るがすものです。以前述べたように、聖書に書かれているこれらの出来事は、他の文化圏で語られたことを注入したに過ぎないという主張があります。でも、留意ください。これらの主張はいずれも、他のいかなる教理に対して決して敵対していません。分かりますか？ それらは、聖書だけに敵対してきます。それには理由があります。聖書聖句に記されているあらゆる事が、真の生ける神によって肯定されているからです。すべてがそうです。その肯定は、神の預言によってもたらされただけではなく、奇跡を起こすことによって、聖霊を通して預言者と使徒たちによって、そしてもちろん神ご自身によってもたらされました。そして、これらの出来事は、私たちが目にしていないからといってその現実を取り去るものではありません。神は、こんにち、神の御言葉を通して、私たち全員に語り続けておられます。神の御言葉を証しする事で、私たちの目の前で展開し続け、同時に人の知恵を無にします。ですから、「処女降誕。本当？」という人、そう言うあなた方全員、あなたがたが信じている人為的な奇跡について考えてみるべきです。なぜなら、あなたが、不可能を可能にする私の神のなさることを信じるのが難しいのなら、処女降誕に関して、どうして男が、出産できるという考えを簡単に受け入れることができるのですか？ 私の所へ来て、話してください。医者はどこですか？彼はまだですか？ 図解を見せてください。膝を突き合わせて座りましょう。自然主義的世界観から、これがどのように自然に起こるのですか？ また、私がびっくりしたのは、世界的に有名な科学者が、世界的に有名な医師が、生物学的男性が本当に妊娠できることを記録しようとする事。そして次の瞬間、真の生ける神を嘲笑う。ご存知ですか？そこのあなた。あなたがしていることは、神の御言葉の成就そのものです。あなた方は心を頑なにし、真理を拒絶したから、あなたは自分の考えや想像へ引き渡されたのです。だから、今のような精神状態にあるのです。「ローマ人への手紙 1 章 28 節」に記されています。神の御言葉をお読みします。

—ローマ 1:28—

また、彼らは神を知ることに価値を認めなかったため、神は彼らに無価値な思いに引き渡されました。それで彼らは、してはならないことを行っているのです。

だからあなたは、男性が妊娠する可能性があるかと信じている。あなたは病んだ思想を持っている。腐敗した思いを。それであなたがたは、処女降誕について話したが。あなたは超自然的なことを理解できず、明らかに不自然なことを信じる愚か者。どうしてそうなるのか？退廃した思考よ。私たちはあなた方のために祈ります。私はあなたに叫んでいますけど、あなたのために祈ります。そうすることになっているからというだけではありません。私たちは、あなた方の心が神の愛によって柔らかくなることを心から願います。でも私たちは、あなた方のため緊急にも祈ります。時はもう短く、迫っているからです。神は、永遠に人間と争うことはあられません。ですから私たちクリスチャンは、このような狂気が起こっているのを目の当たりにすると、信仰が高まります。神の御言葉がそうなりと仰っているから。あなた方の愚かさの故に、今まで疑っていた人たちは、おお、確信が持てるようになります。これが処女降誕を私たちが信じる理由でもあります。では、マリアの歌で締めくくりたいと思います。御使いは、話すように命じられた事を彼女に伝えた後、こう言ったからです。マリアは信じ、歌い出します。私たちがこの箇所を読むのは、本当に適切だと思います。読むにあたり、ルカ書にもあるように、私たちの魂の救いのために与えられた御子の処女降誕の確かさをもって、そうしましょう。「ルカの福音書 1 章 46 節から 55 節」に記されています。神の御言葉が語ります。

—ルカ 1:46—

マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、

ールカ 1:47ー

私の霊は私の救い主である神をたたえます。

ールカ 1:48ー

この卑しいはしのために目を留めてくださったからです。ご覧ください。今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。

ールカ 1:49ー

力ある方が、私に大きなことをしてくださったからです。その御名は聖なるもの、

ールカ 1:50ー

主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。

ールカ 1:51ー

主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。

ールカ 1:52ー

権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。

ールカ 1:53ー

飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。

ールカ 1:54ー

主はあわれみを忘れずに、そのしもベイスラエルを助けてくださいました。

ールカ 1:55ー

私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対するあわれみをいつまでも忘れずに。」

私たちの魂は、主を崇めますか？ 彼らがそうするのを祈ります。マリアがこう語ったのに留意ください。「私の霊は私の救い主である神をたたえます。」これが分かりますか？ マリアの救い主は、私たち皆の救い主と同じです。マリアには、救われることが含まれていて、救いの一部ではありません。私が正しく理解しているのが分かるでしょ？友人に伝えて下さい。繰り返しますが、イエスの誕生に関して、数多くの預言があります。私たちはそのすべてに触れることもできたでしょう。でもあなたが処女降誕を飛ばすなら、何がポイントなのですか？ 神がそう仰ったから、私たちは信じます。神がご自分の言葉を与えて下さっているから。この奇跡的な誕生は、イエスを指し示すしるしでした。イエスのお陰で、イエスを信じる全ての者は、永遠のいのちという無償の贈り物に与れます。このすべてが、神の御業なのです。

「神にとって不可能なことは何也不会ありません。」

ですから私たちは、処女降誕が本当に起こったと信じ知っているのです。ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様、主よ、御言葉を与えてくださったことを心から感謝します。私たちは、何の疑問もなく、ただ頼ることができます。私たちは、これがなされたことを知っていて、あなたがこれをなさったことに感謝します。あなたなしでは直面する邪悪な危機から私たちを救い出してくださるために。そして、イエス・キリストの尊い血潮のゆえ、私たちをあなたと共に歩む、正しい場所に置いてくださるために。お父様、何と言えがいいのでしょうか。感謝します、は十分ではありません。ですから、私たちはこの無償の贈り物を受け取り、あなたのお優しい慈悲と恵みに依り頼みます。この言葉が最も頑な心に浸透し

ますように。主よ、それを打ち砕き、彼らの中に入れ、彼らがあなを求め、救われるようしてくださいますように。私たちはあなを愛し、褒めたたえます。救世主イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7